

# 第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名：一宮市建設部道路課

事業の名称：都市計画道路 栄線 電線共同溝整備事業

実施都市名：一宮市

## 事業目的

当路線の西側歩道のみが電線類地中化の未整備状態が長年続き、アンバランスな景観が中心市街地の衰退に拍車をかけ、災害に強いまちづくりにも支障をきたしていた。街路整備を行うことにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市防災機能の向上および地域の活性化に寄与するものです。

## 事業概要

事業名称: 都市計画道路 栄線 電線共同溝整備事業

路線名: 3・2・105 栄線

事業箇所: 一宮市栄2丁目地内外

事業延長: 358m

幅員: 36m

事業費: 約3億3千万円

事業実施期間: 平成19年～平成22年

本事業は、都市計画道路 栄線の西側歩道6mにおいて、C・C・BOXによる電線類の地中化及び歩道を整備したものです。整備にあたっては、既存ストックの活用によるコスト縮減や、施工性、経済性に優れた管路材の選定を行いました。また、歩道舗装にはバリアフリー対応の平板を採用し、自転車の通行区分と歩行者の通行区分の舗装を視覚的に分離することにより、安全な通行空間の創出に努めました。

# 事業位置図



# 全体図(平面図・側面図・横断面図)



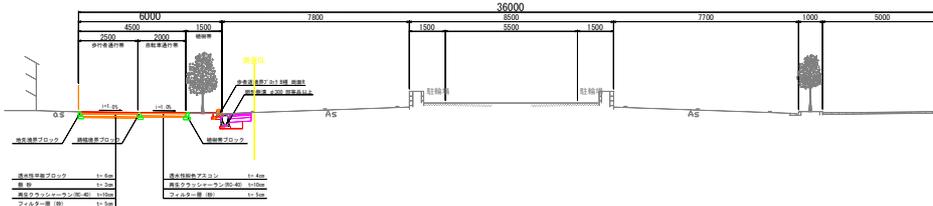
標準横断面図

S=1:50

セミフラット形式部  
(R=200m)

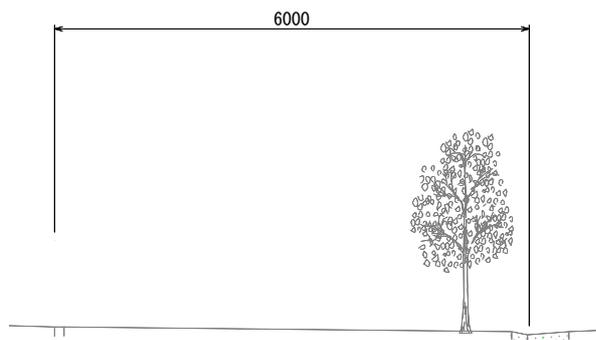
設計条件	
道路規格	4種2級
設計速度	50km/h
交通区分	B交通

3-2-24号 案様

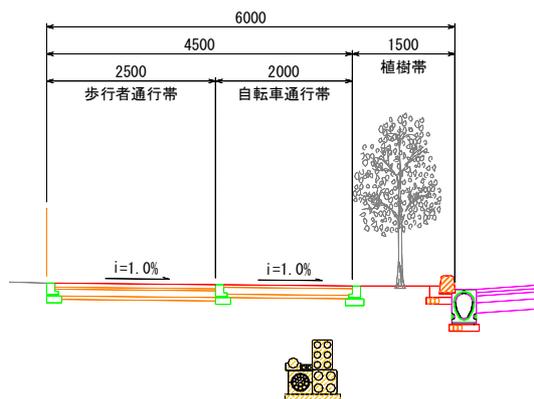


# 栄線の整備効果アピール資料

事業前



事業後



## ○事業概要

事業名：栄線 電線共同溝整備事業

路線名：3・2・105 栄線

事業箇所：一宮市栄2丁目地内外

事業延長：358m

幅員：36m

総事業費：約3億3千万円

事業期間：平成19年～平成22年

## 「整備効果」

・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保により、中心市街地の回遊性が向上し、にぎわいを取り戻しつつある。

## 「その他の事業効果」

・都市の景観軸が明確化されたことで、現在、建て替え中の駅ビルとともに、市の顔として来訪者等に好印象を与え、今後、より多くのリピーターによる中心市街地の活性化が期待される。

# 事業前写真

①

平成18年8月撮影



②

平成18年8月撮影



③

平成18年8月撮影



# 事業後写真

①

平成24年1月撮影



②

平成24年1月撮影



③

平成24年1月撮影



# 写真撮影箇所

